

## 日本マクロエンジニアリング学会 2020 年度第 2 回(通算 151 回)理事会

### 議事録

1. 日 時 : 2020 年 8 月 23 日 (日) 15:30~17:30
2. 場 所 : Zoom ミーティング
3. 出席者 : 茂木、小島、角田、八木田、新田(修)、増子、杉野、山下 (以上、会長、副会長、理事長、理事)  
藤田、秋吉 (顧問 : オブザーバー)  
高橋、鳴尾 (監事 : オブザーバー)
4. 記 録 : 迹目 (事務局)
5. 議 事 :

議 題 1-1 理事会、各委員会、理事の役割 (経営チェックリストの課題、進捗)

理事長より、以下について進捗等の説明があり、課題については担当の割り振りがあった。

- |                               |                   |
|-------------------------------|-------------------|
| ① 経営チェックリスト 3-1 (多様な人材の選任、活用) | 課題を選挙管理委員に割り振り    |
| ② " 3-2 (人材確保の工夫)             | 課題を理事長、各委員長に割り振り  |
| ③ " 6-8 (知的財産権の活用)            | 課題を総務委員長に割り振り     |
| ④ " 6-9 (競合者の把握)              | 課題を各委員長、事務局に割り振り  |
| ⑤ " 6-10 (ノウハウ等の管理)           | 課題を総務委員長、事務局に割り振り |

議 題 1-2 理事会、各委員会、理事の役割 (組織、分掌、運営細則の現状)

理事長より、組織、分掌、運営細則の現状の説明があり、特に異議はなかった。

議 題 1-3 理事会、各委員会、理事の役割 (組織、分掌の現状、運営細則)

理事長より、以下について進捗等の説明があり、課題については担当の割り振りがあった。

- |                             |                                  |
|-----------------------------|----------------------------------|
| ① 経営チェックリスト 1-1 (経営理念の浸透は?) | 広報の手段、進捗を確認                      |
| ② " 1-7 (セールスポイントは明確か)      | 課題を(次の議題の⑥~⑧の説明に従い)<br>各委員長に割り振り |
| ③ " 1-12 (メルマガなどの活用)        | データベースなどを調査                      |
| ④ " 2-1 (サービスにメリハリ?)        | 課題を総務委員会に割り振り                    |
| ⑤ " 2-2 (魅力、独自性のアピール)       | メルマガ、HP の活用について検討する。             |
| ⑥ " 2-4 (会員勧誘活動は?)          | HP の改訂を検討する。                     |
| ⑦ " 2-7 (会員満足度は?)           | 課題を事務局、各委員会に割り振り                 |
| ⑧ " 2-8 (会員との継続的接触)         | 課題を事務局、企画委員会に割り振り                |
| ⑨ " 2-9 (新規会員の勧誘の工夫)        | 課題を総務委員会、事務局に割り振り                |

#### 議 題 1-4 理事会、各委員会、理事の役割（課題と進捗）

理事長より、以下について進捗等の説明があり、課題については今後検討することとした。

- ① JAMES の価値を高めるビジョンの策定
- ② 会則から目的と進捗状況
- ③ 学会を継続する条件
- ④ 自然に売れる（会員が増える）仕組み コンシェルジュ、検索機能の導入
- ⑤ JAMES の会員が 100 名以上になったときの委員会や研究会のイメージ
- ⑥ 他学会との競合 SWOT 分析、対応 内部要因、外部環境に基づき、改善策等を各委員会に割り振り
- ⑦ 学会員になるメリット
- ⑧ ステークホルダー インセンティブ設計 企画委員会を通したつながり、編集委員会を通したつながり
- ⑨ イベント参加状況

#### 議 題 2 アンケート（運営について）結果の報告

おおよその設問に対し、このままで良いとの回答であったが、注文があった課題と対応は以下の通りである。

- ① コンシェルジュ機能について要検討 総務委員会に割り振り
- ② 理事の任期 交代を踏まえて、参議院式にずらす方法も考えられる。
- ③ 顧問の定員 必要に応じ理事会にて運営細則を改定できる。
- ④ 会員増強などでウェビナーを活用 誰が何を話すかが大切で講演者を募集することとした。
- ⑤ HP を来年度改訂できるか？ 色々な手段もあり、見せるための HP の作成には熟考を要するとなった。
- ⑥ トップページだけでも検討するか？ 別途検討とした。

#### 議 題 3 アンケート（キャッチフレーズ）結果の報告および関連事項の討議

- ① キャッチフレーズは改定案も踏まえ、決定した。
- ② 短文については、複数案をいただき、これをまとめて、最終案にするとした。
- ③ エンゲージメントビデオは新田総務委員長の（案）が提示されたが、「マクロエンジニアリングとは・・・、マクロ学会とは・・・」は一つに限る必要がなく、今後とも募集するとした。

関連して以下の議論があった。

- ④ そもそもはマクロエンジニアリングの理解のためであり、マクロ学会の歴史などをウェビナー方式で記録を残す方法も考えられる。
- ⑤ 藤田顧問から、マクロ学会の歴史などの資料まとめに尽力できる旨、提案があった。
- ⑥ マクロエンジニアリング的視点で取り扱うべきテーマは多く、ウェビナー方式で意見をまとめ、記録に残すことも考えられる。
- ⑦ 社会状況を踏まえたマクロ学会のメリットに注目すべき

- ⑧ 潜在的問題意識はあるが、旗を振る人がいない状況でマクロ学会がテーマ、場所を提供することはできないか。
- ⑨ 組織（特に技術）の縦割りをなくせば、日本は良くなる。
- ⑩ 現役は制約もあり多忙、リタイアした人は比較的自由、活躍してもらえばよい。その際、リタイアと現役の対話があればよい。フリーハンドの人、学者の意見も貴重とする（積極的に取り組む）。
- ⑪ 原発汚染水、三峡ダム、商船三井のタンカーの座礁などの対策の座談会、アドホックな研究会、ウェビナー、その後、YouTubeでの発信はどうだろうか？

これらについて、総務委員長から発議し、皆が適宜協力することとなった。

#### 議 題 4 事務局引継の段取り等

総務委員長より以下の説明があり、了承された。

- ① 事務局を募集中
- ② 会長他の交代は特に変更なし（茂木現会長は今限り年度末までのご意向）
- ③ 研究会の活性化は座談会、アドホックな研究会、ウェビナーを踏まえて提案する。
- ④ 選挙については、適宜、準備する。

その際、監事はほかの役員を兼任できないこと、および、年度内に現理事会が次期会長を選出すると並行して理事選挙、年度明け早々に新会長が副会長、監事、および各委員長を選任、来年度最初の理事会で新会長の提案に基づき理事長および顧問を選任などの工程について会則と矛盾しないよう留意する必要がある。

#### 議 題 5 前回理事会申し送り次項

以下の説明があり、了承された。

- ① 政策提言                      前回理事会議事録に基づき、テーマに応じて対応することとした。
- ② 研究大会                      アンケートから、11月の日曜日とした。  
日にちはアンケート中
- ③ 文明システムズ・地球環境・プロジェクト合同研究会（東大ホームカミングディ）  
進捗の報告があり、残務は今後、関係者と協議の予定とした。

#### 議 題 6 その他

以下の説明があり、了承された。

- ① 次回理事会は9/27(日)15:30～とした。
- ② 年度内最後の理事会にて会長の選任する段取りが必要。

議事をすべて網羅し、17:35、理事会を終了した。

資 料

- 1) 2020 第 2 回理事会議事次第 2
- 2) JAMES2020 理事会 8 月資料 2
- 3) イベント等参加状況
- 4) 運営についてアンケート集計
- 5) キャッチフレーズについて集計
- 6) 事務局の引継段取り、新体制準備（総務委員長）\_2020-08-22
- 7) 2020 年度総会議事録 V1
- 8) 2020 年度第 1 回(通算 150 回)理事会議事録 V2

以上